



当事者インタビュー

EKさん

— 普段どんな活動・お仕事・過ごし方をされていますか？
 普段は、異変に気が付いたのは1993年、20歳の時でした。当時、新聞配達のアパートをしていました。休憩中にTVを見ていたらTVの出演者が自分の名前を呼んだ気がしました。それが幻聴の始まりで、段々と酷くなっていき24時間幻聴が止まらなかつたこともありました。

— 普段どんな活動・お仕事・過ごし方をされていますか？
 タオルを畳む仕事やシールを束ねて切る仕事をしています。特にシールを束ねて切る作業は強い力が必要なので大変です。仕事以外には、パソコンのワードで文章を書く練習を時間を決めて(9時30分〜14時30分まで)しています。

— 趣味など好きなことを教えてください。
 趣味はたくさんあります。ハビーマタル系の音楽を聴いたり、読書、最近ではギターでクラシック音楽を演奏するのも趣味の一つです。他にコーヒードと牛乳は大好きで毎日飲んでいきます。コカ・コーラも大好きですが飲み過ぎには注意しています。

— いつ頃からどんな不調を感じようようになりましたか？
 最初に、異変に気が付いたのは1993年、20歳の時でした。当時、新聞配達のアパートをしていました。休憩中にTVを見ていたらTVの出演者が自分の名前を呼んだ気がしました。それが幻聴の始まりで、段々と酷くなっていき24時間幻聴が止まらなかつたこともありました。

— 病気で苦勞したことなどを教えてください。
 幻聴の影響で夜に眠ることができず、昼夜逆転し日中活動が全くできなかつた時はとても辛かつたです。家においても絶えず聞こえる声で休まる日はありませんでした。

— 相談相手はどなたか、相談することに変化した事など教えてください。
 最初は母親、主治医と通っている事業所の支援員の方に相談しています。最初に相談したのは母親でした。相談相手は限られた人に絞って行っています。相談したことによって、昼間の活動ができるようになり、病院にも行くことができるところで幻聴も無くなりました。

— 病気かもしれないと不安に感じている方へのメッセージをお願いします。
 信頼できる人は、人それぞれだけれど、身近な人に相談してみるといいと思います。私は母がよく話を聞いてくれたので助かりました。

— 地域の方に理解してほしいこと、伝えたいことなどをお願いします。
 医療関係者も含めて精神の病気を理解している人が少ないと感じています。他の障がいのように、もっと精神障がいの認知が広がると良いと思います。

— 今後の課題
 仕事について「日も早く一般就労がしたいです。作家として働く前に、何か別の仕事を挟んだ方がベストな選択だと考えます。今だと、料理関係が心に浮かぶけど、特別料理がこなせる実力はない。作れると言ったら、カレー、みそ汁、チャーハン、焼き魚、と少ないです。アルバイトでいいので、どこかで雇ってもらえないかな。パン工房で修業を積むのはチョット気が引けます。家の中仕事は前回と同様に母親にまかせっきりで申し訳ない。転換性障害克服へ心を前向きに・肯定的に使おうと奮闘する毎日です。楽しいことを考えよう。難しくも・達成感もありで、心身の波が激しい毎日です。これで、克服できるかなと思っ瞬間が時々やってくるけど期待外れ。就労して何回目かのお給料で、ギターを買っただ。フォーククラシックギターか。コード弾きが苦手なので克服だ。

当事者インタビュー

YKさん

↓仕事をするYKさん



— 普段どんな活動・お仕事・過ごし方をされていますか？
 月・水・金曜日は事業所Pで、火・木曜日は事業所Rで働いています。仕事内容は、ノバキャブ、キノコキヤップの洗浄などをしています。今の仕事はとても気に入っています。普段家にいる時は、TVを見たり、家事の手伝いをしています。

— 趣味など好きなことを教えてください。
 写真を撮るのが好きで、特に風景を撮影するのが好きです。山、空、季節の花など身近なものを気づいた時に撮影しています。写真を撮り始めたきっかけは、木島線が廃止になる時にインスタントカメラで撮影したのが始まりで、今では遠出して風景を撮影することもあります。

— いつ頃からどんな不調を感じようようになりましたか？
 中学生の頃、殴る蹴るなどのいじめを受けました。誰にも相談できないまま人間不信になり、高校入進学後も保健室に通う毎日でした。高校1年生頃から独り言や妄想・幻覚を見るようになり母親の進めで受診し、統合失調症の診断を受けました。

— 病気で苦勞したことなどを教えてください。
 高校卒業後、一般企業に就職しました。苦勞したことは、体調が悪く休みたいたいに精神障がいに対する理解が無く、上司から『ここが悪いの？』と疑われることが辛かつたです。

— 相談相手はどなたか、相談することに変化した事など教えてください。
 現在は、通っている施設の支援員の方や家に帰れば母親、病院であれば主治医に話を聞いてもらっています。学生の頃であれば保健室の先生に話をしていました。私の場合は話すことで、気持ちがいラックスします。

— 病気かもしれないと不安に感じている方へのメッセージをお願いします。
 とにかく相談してみてください。誰も怒らないし攻めません。まずは身近な人から相談してみてください。



ご本人の作品 マルーン号の勇姿

— 地域のの方に理解してほしいこと、伝えたいことなどをお願いします。
 行動したい・やりたい気持ちがあるけれどもできない時もある。そこを理解したうえで行動にも配慮してほしいと思います。

— 将来の夢を教えてください。
 コロナウィルスの感染拡大がおさまれば、遠出をして写真を撮影したいです。県内であれば軽井沢の白糸の滝。海外でも写真撮影を試みて、アメリカのニューヨークで自由の女神像をカメラにおさめたいです。

— 将来の夢を教えてください。

将来は、小説家になりたいと思っています。普段から、パソコンで小説やエッセイを書いています。それを皆さんにも読んでほしいと思っています。他には、野球が好きなのでアメリカでメジャーリーグの各チームのスタジアムにも行ってみたいですね。

ご本人の作品【エッセイ】